

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 縁JOY time | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 23日 | | 2025年 2月 5日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 34 | (回答者数) 25 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 23日 | | 2026年 2月 16日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 16日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ・調理活動など体験的で主体性を育むプログラムの充実 | ・活動が固定化しないよう、調理・制作・外活動など多様な体験活動の実施 | ・活動ごとに「ねらい(育てたい力)」を明確にし、療育的視点を強化する |
| 2 | ・保護者とのこまめな情報共有と信頼関係の構築 | ・連絡帳や面談を通じた丁寧な情報共有と、保護者との共通理解の形成 ・小さな変化や成功体験を積極的に伝え、安心感と信頼につなげている | ・インスタグラムを活用し、支援の意図や専門性を見える化する |
| 3 | ・子どもが安心感をもって楽しく通所できる環境づくり | ・子どもの特性や気分に応じてグループ分けや活動内容を柔軟に調整している ・否定的な声かけを避け、共感的・肯定的な関わりを意識している | ・職員間で支援方法を共有し、関わり方の統一と質の向上を図る ・成長段階に応じた空間設定や活動内容の見直しを定期的に行う |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ・専門的支援や加算支援の内容について、保護者への説明が十分に伝わっていない点 | ・専門的支援や加算支援の内容について、専門用語が多く、具体的な支援場面と結びつけた説明が十分でなかったこと | ・専門的支援や加算支援の内容を、具体的な活動例を交えて分かりやすく説明し、通信や面談等で定期的に周知すること |
| 2 | ・地域の子どもや他機関との交流機会が少ない点 | ・地域交流について、安全面や受け入れ体制の調整を優先してきたため、外部との連携機会が限定的であったこと | ・地域の関係機関や児童館等との連携を図り、無理のない範囲で交流機会を設定すること |
| 3 | ・清掃・換気等の環境整備について継続的な改善が必要な点 | ・利用児童の成長や人数の変動に対し、空間活用や環境整備の見直しが継続的課題となっていること | ・清掃・換気・環境点検を定期的実施し、快適な環境づくりを継続すること |

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 縁JOY time | | 公表日 | | | 2026/2/27 |
|---------|-----------|--|-----|---------|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | 0 | 1階、2階、外等少人数でグループ分けをしている | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | 0 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 2 | キッチンや2階部屋の前にチャイルドゲージを設置している | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | 0 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | 0 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | 0 | 毎月の職員ミーティングで月間活動計画をの振り返りと次月の目標設定をしている | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 2 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | 0 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 5 | 3 | | 外部評価の活用について検討したい |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 1 | | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | 0 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | 0 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | 0 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 3 | | 職員によって子どもの見方や評価の基準が少しずつ違い、支援のやり方に差が出てしまう可能性がある点。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 1 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | 0 | イベントカレンダー作成時に割り振りを行っている | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | 0 | 5領域の担当を決めて活動が固定化しないよう、調理・制作・外活動など多様な体験活動の実施 | 月で見ると内容がマンネリしてしまうので月に1つは新しい活動を取り入れる |

| | | | | | | |
|----------------------|----|--|---|---|--|---------------|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | 0 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | 0 | 朝ミーティングで確認・共有している | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 1 | 朝ミーティングで共有している 重要な事はその日のうちに共有している | パートさんへの共有が不十分 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | 0 | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 1 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ 合わせて支援を行っているか。 | 6 | 2 | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | 0 | | |
| 関係機関 や保護者との 連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 1 | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 1 | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。 | 8 | 0 | ホワイトボードに週予定を明記しダブル チェックを行う。万が一送迎に遅れる場合は 事前に電話連絡をしている | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | 1 | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。 | 6 | 2 | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 2 | 6 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。 | 6 | 2 | 活動で児童館訪問に火を作っている | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 1 | 7 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 1 | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 2 | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。 | 7 | 1 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 1 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | 1 | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 1 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---------------------------------|-----------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 7 | 1 | 川口エリアで年1回保護者会を開催 | 年1回ではなく定期的に事業所ごとの保護者会も開催を検討 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 1 | インスタグラムとブログの不定期投稿で活動内容などを発信している | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 1 | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 6 | 2 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | 0 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | 1 | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | 0 | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8 | 0 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 1 | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 1 | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | 1 | | |